



CORPORATE VISION 2013

2013年12月期
第1四半期決算報告

2013年1月1日

2013年3月31日

GMO INTERNET

証券コード:9449

株主の皆様へ

前年同期比で27%増収、
四半期純利益は23%増益。
営業利益・経常利益は
過去最高を更新しました。

代表取締役会長 兼 社長 グループ代表

世と寿



全セグメントで増収、特にWEBインフラ・EC事業が拡大

当社グループの2013年度は好調な滑り出しとなりました。第1四半期の連結業績は、全セグメントで増収傾向が顕著となり、四半期業績としては過去最高の売上高228億円(前年同期比27%増)を達成しました。利益面の成果も著しく、営業利益・経常利益はそれぞれ14%台の増益率で過去最高を遂げ、四半期純利益は11億円(同23%増)に拡大しました。

とりわけ大きく業績を牽引したのは、WEBインフラ・EC事業です。全インフラ商材におけるシェアNo.1の維持・拡大とともにブランドの更なる浸透によりストック収益を積み上げ、29%の増収・34%の増益と成長が加速しています。

インターネットメディア事業は過去最高の売上高を達成し、インターネット証券事業は海外展開への先行投資により利益が減少したものの、為替の活況を受け、大幅増収となりました。



そして、4本目の事業の柱に育成すべく、ゲーム事業への投資を継続しているソーシャル・スマートフォン関連事業では「Gゲー」の収益化が着実に進んでいます。従来のソーシャルアプリ事業と「Gゲー」を合わせたスマートフォンゲーム事業として、本年5月には単月でほぼ黒字化を達成する見込みです。



当社グループは、進化し続けるインターネット市場を捉え、その発展に貢献していくことで、業績をさらに向上させてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト (2013年1月1日▶2013年3月31日)

▼第1四半期決算のポイント

過去最高の営業利益28.9億円を確保

当第1四半期	
売上高	
	22,810百万円 (前年同期比27.0%増)
営業利益	
	2,894百万円 (前年同期比14.6%増)

通期予想	
売上高	
	83,000百万円 (前期比11.6%増)
営業利益	
	10,500百万円 (前期比14.8%増)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同期比増減率)

WEBインフラ・EC事業	
売上高	9,051 (29.0%増)
営業利益	1,318 (34.3%増)

当四半期のポイント

- ストック収益の積み上がりと商材間のシナジー効果で大きく伸長
- 全インフラ商材のシェアNo.1を維持、ドメイン取得は国内の9割
- レンタルサーバーは「GMOアプリクラウド」がゲーム業界で高支持

インターネットメディア事業	
売上高	7,488 (14.7%増)
営業利益	659 (4.2%増)

当四半期のポイント

- 広告代理事業における自社商品比率の拡大により、高収益体質へ
- リスティング広告を中心に、GMOアドパートナーズが引き続き好調
- アドテクノロジーを駆使したアドプラットフォームを自社で構築

インターネット証券事業	
売上高	5,528 (34.0%増)
営業利益	1,253 (4.3%減)

当四半期のポイント

- 株式相場・為替取引の活況により、売買高は211兆円に、株式取引高は5.5兆円と2008年以降最大規模に
- 海外展開等の投資あるも、実質的な増益基調

ソーシャル・スマートフォン関連事業	
売上高	1,261 (86.4%増)
営業利益	△402 (—)

当四半期のポイント

- 「Gゲー」のマネタイズとともに売上が急伸し、損失額も減少
- 「Gゲー」はユーザー数を引き続き拡大、3月末現在3,145万会員
- 「GooglePlay」で「Gゲー」タイトルが売上ランキング上位に進出

事業別トピックス

▼ WEBインフラ・EC事業

技術力と運営ノウハウの集積によりNo.1サービスを提供
WEBインフラ契約件数は、当第1四半期末に460万件に到達。前年同期比16.7%増の急成長を示しています。特にドメイン取得は国内gTLDシェア90.1%、レンタルサーバーは国内シェア53.9%と、それぞれ圧倒的1位を確立。技術力と運営ノウハウの集積により、No.1サービスの提供、多様化する市場ニーズへの対応が効果を発揮し、当社グループならではの強みを生み出しています。

ネット選挙の「なりすまし防止」を支援

この夏に行われる参議院選挙から、選挙活動のインターネット利用が解禁されます。公職選挙法改正案で推奨された認証サービス「電子証明書」を、当社グループでは、安心・安全なインターネット活用支援の一環として、国政選挙におけるウェブサイト用電子証明書を全て無償提供(寄付)します。これにより、ネット選挙における候補者・政党のなりすましを防止し、被害を未然に防ぎます。

国会議員公式サイト



▼ ソーシャル・スマートフォン関連事業

スマートフォン強化に向けた統合・改称を実施

「Gゲー」が前期より集客ステージからマネタイズステージに移行し、第4の柱の事業に育ちつつあります。App StoreおよびGoogle Playにて課金タイトルを投入し、現在、黒字化が順調に進んでいます。

注目アプリのご紹介

「スマサカbyGMO」は当社開発のiOS/Android™向けアプリ。スマートフォンで臨場感あふれる3Dの演出が楽しめる本格サッカーカードゲームです。



第22期 定時株主総会開催のご報告

2013年3月24日、当社はセルリアンタワー東急ホテル(東京都渋谷区)において、第22期定時株主総会を開催しました。日曜日にもかかわらず、多数の株主様にご出席いただきました。あらためてお礼申し上げます。議長を務める熊谷より2012年12月期の事業報告および決算概要をご報告した後、決議事項に移り、下記議案のすべてにつき原案どおり承認可決されました。

第1号議案 資本金の額の減少の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役15名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

この結果、当期の役員構成は以下のとおりとなりました。

代表取締役会長 兼 社長 グループ代表	熊谷 正寿	常勤監査役	武藤 昌弘
専務取締役	安田 昌史	監査役	岩倉 正和
専務取締役	西山 裕之	監査役	郡司掛 孝
専務取締役	伊藤 正	監査役	小倉 啓吾
常務取締役	宮崎 和彦		
常務取締役	山下 浩史		
常務取締役	高橋 信太郎		
取締役	青山 満		
取締役	菅谷 俊彦		
取締役	有澤 克己		
取締役	新井 輝洋		
取締役	佐藤 健太郎		
取締役	堀内 敏明		
取締役	児玉 公宏		
取締役	野村 正光		

総会終了後にはLINE株式会社の代表取締役社長の森川 亮氏をスペシャルゲストとしてお招きし、トークショーを開催いたしました。(当日の様子は裏表紙もご参照ください。)

その他、各種資料等はこちらから。

▶ <http://ir.gmo.jp/stock/shareholder/>

株主様向けインフォメーション

株主総会を
開催しました!



受付の様子



1,500名を超える株主の皆様にご
出席いただきました



今後の戦略を説明する熊谷



LINE(株)森川社長とのトークショー

◀ 決議結果は中面をご参照ください。

1 四半期配当

今回の第1四半期末配当は1株当たり**3円**を実施させていただきました。2013年の年間配当金は1株当たり**14円**、配当性向は**34.4%**となる予定です。

2 株主優待

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-3461-2222(土日祝祭日及び会社休業日除く)

3 株主様向け書類のサイズ変更

第22期定時株主総会招集ご通知より、株主様向け書類をシステム手帳のバイブルサイズに変更させていただきました。今回の決算報告につきましても同様のサイズでお届けいたしました。冊子左端に穴をあけていただくことで、バイブルサイズの手帳にとじこむことができます。ぜひお試しください。

弊社株式に関するお問い合わせは三菱UFJ信託銀行株式会社まで。

0120-232-711 (東京) **0120-094-777** (大阪)

(受付時間: 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)